

No. 1.

項目	設 問	回答者	1 学期 各項目選択率(%)					考 察	改善策等
			ア	イ	ウ	エ	オ		
I 確かな学力の向上	1 教職員は、分かりやすい授業になるよう工夫をしていると思いますか。	児童 保護者 教職員	78 37 50	17 49 50	3 5 0	2 3 0	1 1 0	【設問1】 「分かりやすい授業」の項目は、児童・保護者・教職員ともに肯定的評価が高い。 【設問2】 「学習内容の理解」の項目では、全体的に肯定的評価が高く、児童・教職員の「とてもそう思う」の評価が上がっている。 【設問3】 「伝える力」の項目では、三者ともに肯定的評価が低い。本校の学習における大きな課題である。 【設問4】 「宿題」については、児童・教職員が感じているほど保護者の肯定的評価が高くない。 【設問5】 「タブレットの学習」を楽しみにしている児童は多いが、「分からない」と回答する保護者が多かった。タブレットを活用した授業は、各教科で行われているが、保護者に取組の内容等が伝わりにくい。	【設問1】 引き続き「分かる授業」「楽しい授業」を心掛け、ICTを活用した更なる授業改善にも取り組んでいます。 【設問2】 学習の形態、ICTの活用など工夫した授業を心掛けます。朝学習の時間に、基礎学力を身に付けさせるための活動を繰り返し行い、月末テスト等でその成果を見ています。 【設問3】 「伝える力」は、本校の児童の課題です。授業中や朝の会・終わりの会、集会など、様々な場面で自分の考えを伝える場を増やしています。また、授業中にペア学習やグループ学習を取り入れ、対話することで、意見が活発に出るよう、場面設定を工夫しています。 【設問5】 今後もICTを積極的に活用した授業に取り組み、家庭学習における有効なタブレット活用方法についても研修を進めていきます。
	2 児童は、学習内容を概ね理解し身に付けていると思いますか。	児童 保護者 教職員	64 25 23	28 58 73	6 13 4	2 3 0	1 1 0		
	3 児童は、自分の考えを相手に伝える力を身に付けていると思いますか。	児童 保護者 教職員	39 13 0	40 55 68	15 27 32	6 4 0	1 0 0		
	4 児童は、宿題をきちんとするなど、家庭で学習する習慣が身に付いていると思いますか。	児童 保護者 教職員	71 36 18	20 47 73	7 12 9	2 4 0	1 1 0		
	5 児童は、タブレットを使った授業を楽しみにしていると思いますか。	児童 保護者 教職員	84 44 64	12 39 32	2 2 4	2 1 0	14 1 0		
II 豊かな心の育成	6 児童は、あいさつがよくできていると思いますか。	児童 保護者 教職員	52 20 0	35 50 59	9 24 32	4 3 9	1 3 0	【設問6】 「あいさつ」は、保護者・教職員の肯定的評価がとても低い。生活面での大きな課題である。 【設問7】 「認め合う学級集団」は、児童・保護者の肯定的評価が少し上がった。(昨年65%) 目指す児童像「思いやりのある子」に少し近づきつつある。 【設問8】 「読書に親しんでいる」は、保護者の肯定的評価はあまり高くない。今後は、家庭での積極的な読書活動にも工夫が必要。 【設問9】 地域コーディネーターが積極的に地域人材を活用した授業を展開している。活動内容が保護者にも浸透し、14P肯定率が上がった。(昨年73%)	【設問6】 学校運営協議会や地域にも呼びかけ、挨拶の励行に努めます。教職員も常に気持ちの良い挨拶ができるよう心掛けます。 【設問7】 授業、学校行事、課外活動等子どもたちの活躍できる場を設定し、「互いを認め合い高め合える集団」づくりを目指していきます。 【設問8】 家読の奨励やブックトーク・読み聞かせの時間を設定、図書情報館を積極的に活用を推進し「本が好き」な児童の育成に努めます。 【設問9】 コミスクでの活動を通信をSNSで配信するなど、引き続き積極的な情報発信を努めます。
	7 互いを認め合う学級集団になっていると思いますか。	児童 保護者 教職員	57 22 14	37 48 82	5 10 4	1 1 0	19 1 0		
	8 児童は、読書に親しんでいると思いますか。	児童 保護者 教職員	48 23 14	22 28 68	22 33 18	8 14 0	1 1 0		
	9 学校は、地域人材や環境を生かした授業実践に取り組んでいると思いますか。	児童 保護者 教職員	64 42 73	27 45 27	6 5 0	3 1 0	7 1 0		
	10 児童は、「早ね・早起き・朝ごはん」の生活習慣が身に付いていると思いますか。	児童 保護者 教職員	48 35 23	32 46 68	14 14 5	6 4 4	1 1 0	【設問10】 三者とも肯定的評価は横ばいで、昨年度からあまり変化は見られない。(79%・82%・92%) 【設問11】 昨年度とほぼ同じ数値だが、体力作りに対する意識は体育専科・体育主任の実践・声かけにより徐々に高まっている。熱中症対策で外遊びが制限された影響もあったと考えられる。 【設問12】 「学校は楽しいと感じている」と回答している児童が多く、数値も微増。全体的な評価は高い。	
III 健やかな体の育成	11 児童は、体力づくり(外遊びなども含む)に進んで取り組んでいると思いますか。	児童 保護者 教職員	62 39 27	20 37 60	12 20 9	6 3 4	1 1 0		
	12 児童は、学校が楽しいと感じていると思いますか。	児童 保護者 教職員	71 40 32	21 48 4	6 8 4	2 3 0	1 1 0	【設問10】 保健便りや生徒指導便り等も活用し「早寝早起き朝ごはん」を家庭で意識して取り組めるよう、様々な方法で協力を呼びかけていきます。 【設問11】 体育通信の発行や掲示物等により、体育専科を中心に全校体制で、運動に親しめる児童が増えるように呼びかけています。 【設問12】 問題が起こったときは、まずは傾聴と共感、情報共有と記録の蓄積に努めています。「チーム対応」できるよう心掛けています。学校が楽しいと感じられるよう、学校行事の設定、授業改善、生徒指導に努めます。	

項目	設 問	回答者	1 学期 各項目選択率(%)					考 察	改善策等
			ア	イ	ウ	エ	オ		
IV 学 校・ 家 庭・ 地 域の 連 携、 他	13 学校は、相談事や悩み事に対して適切に対応していると思いますか。	児童	79	16	3	2		【設問13】 児童・保護者ともに、肯定的評価が高く、学校の対応を評価が少し上がった。 【設問14】 保護者の肯定的評価7P上がったが、児童・教師との意識の差はまだ大きい。 【設問15】 保護者の肯定率が5P上がった。児童・保護者ともに教師と意識の差は大きい。 【設問16】 保護者・教職員ともに肯定的評価は高い。保護者の肯定的評価は、昨年度よりさらに6P上がった。HP等で、日々児童の様子をオンタイムで紹介している効果だと思われる。 【設問17】 来校時や電話等の「教職員の対応」については、評価は高い。 【設問17】 昨年度より4P下がった。児童の肯定的評価は、年々下がる傾向にあり、今後のさらなる食育の必要性を感じている。	【設問13】 職員会議や職員朝礼等で情報を共有したり、アンケートや教育相談等で、児童の悩みを聞く場を設定し、常に早期対応・早期対応を心掛けています。 【設問14】 問題が発覚した場合、「チーム対応」を心掛け、管理職や生徒指導に報告・相談し、関係機関とも連携して対応します。必要に応じて校内委員会を開き対応を協議しています。 【設問15】 学校行事、課外活動等、活躍の場を増やし、児童の良い面、頑張っている面を機を逃さず賞賛し、自己肯定感を高めていきます。 【設問16】 今後も学校HP、マチコミメール、通信等を活用して学校の方針・活動等を積極的に発信していきます。 【設問17】 今後も、適切な来客・電話対応を全教職員で取り組んでいきます。明るくて風通しの良い、地域から愛され信頼される職員室を目指します。
		保護者	29	53	7	3	8		
		教職員	77	18	5	0	0		
	14 学校は、児童が安心して学ぶことができる（いじめ等のない）学級・学校づくりに努めていると思いますか。	児童	69	24	4	3			
		保護者	27	53	6	2	12		
		教職員	73	23	4	0	0		
	15 児童は、学校で活躍する場や先生・友達に認められる場があると思いますか。	児童	54	29	11	7			
		保護者	26	56	9	1	8		
		教職員	59	36	5	0	0		
	16 学校は、学校の方針や児童の様子などの情報を積極的に発信していると思いますか。	児童							
		保護者	42	51	2	1	3		
		教職員	82	14	4	0	0		
	17 来校時や電話等での教職員の対応は適切だと思いますか。	児童							
		保護者	59	35	1	1	4		
		教職員	82	14	4	0	0		
	18 あなたは、好き(す)きらいをせず、給食を残さず食べていますか。	児童	53	24	16	7			
		保護者							
		教職員							

【備考】ア:とてもそう思う イ:ややそう思う ウ:あまりそう思わない エ:そう思わない オ:分からない